

2019年度 スローガン『進取果敢』 ～大胆にして柔軟に～

進取果敢

～大胆にして柔軟に～



一般社団法人 府中青年会議所

Junior Chamber International Fuchu

9月担当事業 ～山頂(トップ)を目指して～



9月29日(日)庄原市の道後山にて【ひとづくり委員会 9月担当事業～山頂(トップ)を目指して～】を開催致しました。当事業は、組織のリーダーとしてふさわしい資質の中で『相手の事を考える・相手の立場に立つ』という思いやりと、会員同士の友情に焦点をあてて、開催致しました。各グループに分かれ、行きと帰りで様々な役割を決めて、標高1268.4m日本三百名山の一つにも数えられる道後山の山頂を目指しました。



約3時間山道を歩きましたが、誰一人怪我やリタイアなく、無事登頂、下山致しました。下山した会員の顔がとても清々しかったので、きっと道中に各グループでいろいろなストーリーがあったのだと思います。アンケートでは登山中に役割を持った自分の行動やグループの仲間の行動から、『相手の事を考える・相手の立場に立つ』という思いやりが垣間見え、考えるきっかけになったという声を多く頂きました。また、登山中に行ったレクリエーションでは、各会員の事をより深く知れ、友情が育めたという意見も頂きました。私自身、数年ぶりのLDということでもとても悩みましたが、多くの方にご意見を頂くことができ、当日は日曜日開催にもかかわらず、多くの会員に来て頂きました。「いい事業だった」と言って頂いたことは私の大きな自信となりました。最後になりましたが、参加して頂いた会員の皆様ありがとうございました。そして本当にお疲れ様でした。



10月担当例会報告 備後国府まつりの報告と検証

10月15日(火)の10月担当例会にて、2019年度 備後国府まつりの報告と検証を行いました。

前半では、備後国府まつり内で行われたイベントや広報活動について、当日の様子だけでなく企画から準備段階についても写真等を交えながら報告をしました。後半は今年新たに行った府中JC主催のイベント3つの更なるブラッシュアップ、そして備後国府まつりの広報活動について、更に周知範囲を広げていくにはどうすればよいかという事をグループワークし、発表を行いました。

また最後には次年度まつり担当委員長より来年度のまつりに対する想いも聞けたので、来年に対する期待が府中JCメンバー内で高まったと思います。次年度の備後国府まつりにも是非ご期待下さい。



まつり委員会 委員長 堀内 朗

【府中創生提案の草案】

6回の「ソラシド会議※」の開催を通して、府中創生提案の草案を立案いたしました。そしてきたる10月25日に府中市小野市長様へ草案の報告と今後の進め方について、ご相談に上がりました。情報一元化については行政としての問題意識も高いというご意見を頂き、実現に向けて、前向きに連携していきたいというコメントを頂きました。情報一元化という難しい課題でしたが、様々な意見を集約し草案を作成することを通じ、新たな視点での発見も得ることができました。今回ご参加頂いた有識者はじめとする皆様、ご協力頂きありがとうございました。

※地元の情報一元化に関して考える地元協力者13名と社会開発委員会を中心とした府中青年会議所メンバー8名で開催した会議

社会開発委員会 委員長 平 康太郎



『仮入会員セミナー』

10月29日(火)に10月度仮入会員セミナーを開催致しました。今回は6名の仮入会員を迎え総勢32名の参加となりました。

本事業は仮入会員の方にJCの基礎知識を学んで頂く事と相互理解を図り親睦を深める事を目的に、第1部『座学セミナー』と第2部『仮入会員 他己紹介』という2部構成で行いました。第1部座学セミナーでは、JCが目指している事や組織構成についての説明に加えて各事業担当者による事業紹介等を行い、基礎知識を学んで頂きました。

第2部『仮入会員 他己紹介』はグループごとに分かれて、仮入会員の人となりを楽しく掘り起こし、最後は現役会員が仮入会員をプレゼン形式で紹介しました。各グループ非常に面白い紹介となり、本セミナーを通じて、JCについての理解を少し深め、会員同士の懇親が深まるセミナーとなりました。

会員拡大委員会 委員長 伊豆田 浩央

【3】JC野球大会

本年度最後の3 JC野球大会を府中主催で開催させていただきました。試合の結果は1勝1敗でしたが、とても楽しく試合をすることができました。試合後の懇親会では卒業生からありがたいお言葉を頂戴し、メンバー一同JC活動に



野球部と、これからもっと頑張ろうと思いました。福山JC様、三原JC様、メンバーの皆さんありがとうございました！

事務局専任理事 松本 拓也

【第44回 JC旗争奪少年野球大会】

11月3日(日)予選、11月10日(日)決勝を開催いたしました。

小学6年生にとっては、小学生最後の大会となります。チームからの大きな応援と、保護者からの大声援が飛び交い、元気ハツラツと最後の最後ゲームセットまで諦める事なくONE TEAMで試合を行なっていました。

卒業する6年生には、両親やチームメイト、関係者の皆様へ感謝の心をもって中学生になっても頑張ってもらいたいと願います。最後に運営でお世話になりました、野球連盟の皆様本当に素敵な試合の設営をありがとうございました。

試合結果

- 優勝 新市ジュニアジャガーズ
- 2位 駅家少年野球クラブ
- 3位 リトルスネイル
- 4位 旭少年野球クラブ



事務局専任理事 松本 拓也

11月担当例会報告「更なる会員拡大を目指して～本年度の振り返りと次年度へ向けて～」



より熱い意気込みを表明して頂き、来年も府中J Cは全力で会員拡大をやるぞ！という意識が高まる担当例会となりました。

拡大やるぞ～！！

11月11日(月)に会員拡大委員会による担当例会が開催されました。

今回は「更なる会員拡大を目指して～本年度の振り返りと次年度へ向けて～」をテーマに会員拡大に力を入れる重要性の説明と本年度会員拡大活動の報告、そして次年度へ向けての引き継ぎを担当委員長より発表致しました。

府中J Cは近年会員数を増やし50人を越えるところまで来ていますが、今後卒業生も増えてくる事から常に全力で会員拡大をしなくてはならないという共通認識を持つ事が出来ました。

また、担当委員長による赤裸々な活動報告では、時に笑いが起こるなど楽しい雰囲気担当例会となりました。最後は次年度拡大委員長予定者

会員拡大委員会 委員長 伊豆田 浩央

府中教育委員会への提言書の提出と意見交換会

本年度特別委員会である子育て改革委員会として、府中市内の子育て世代を対象に助成体制を推進する為に1年間事業を行ってきました。府中市内の課題を我々で調査し、近隣地域にない助成体制が施行される事を目的に事業に取り組み、10月21日府中市教育委員会へ提言書の提出を行いました。提言書では、

- ①小中一貫教育制度・コミュニティスクール(以下CS)を活用した独自性の高い教育
- ②改善される教育環境の活用について提言しました。府中市独自の子育て支援の1つとして教育環境を改善させる事で子育てしやすいまちに魅力を感じ、居住地として府中市を選択してくれる事で転出などの社会動態が少しでも改善する事につながればと期待しています。



また提言書の提出だけでなく、実際にこれから教育委員会と府中J Cがより良い協力関係を築き、効果的な事業が行えるようにCSと過去の事業の連携についての意見交換会を

行い、今後の協力関係に大きく期待できる良い機会となりました。

近隣地域にない助成体制が整っていく事で「住みたいまち」として選ばれていく府中の一助となればと願っています。昨年の社会開発委員会や本年度当委員会メンバーをはじめ、本事業に関わってくださったみなさまに感謝申し上げます。ありがとうございました。



子育て改革委員会 委員長 門田 和也

忘年例会

12月14日(土) 府中市文化センターにて2019年度最後の事業、忘年例会を開催いたしました。

まず初めに、年末でご多忙にも関わらず、多くの特別会員の先輩にご出席賜りましたこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。忘年例会は例会セレモニー、卒業式、懇親会の三部構成としました。

例会セレモニーでは2019年度を締めくくる場にふさわしく厳かな雰囲気、2019年度最後となる平慶一郎理事長の挨拶と監事からの所感を頂きました。

卒業式では卒業生にゆかりのある特別会員の先輩方にもご参加頂き、現役会員とともに



卒業生の門出をお祝いしました。現役会員は卒業生に感謝を伝え、卒業生からは今までの活動を振り返り、現役会員の活動の指針になるような挨拶を頂きました。

懇親会では特別会員の先輩と現役会員がともに2019年度を振り返りました。また、新しい仲間を特別会員の先輩に紹介し、委員長は今年一年の報告をいたしました。そして次年度へ



向けての新体制や方針を発表させて頂きました。ひとつづくり委員会委員長として、今年度最初の事業の新年例会と最後の事業忘年例会を担当させて頂きましたことを大変名誉と感じております。また忘年例会が円滑に実行できましたのは、ご協力頂いた理事の皆様、委員会の皆様をはじめとする現役会員の皆様のご協力があったからこそです。ありがとうございました。

ひとつづくり委員会 委員長 芦田 玄

卒業生インタビュー



田辺 貴慶 君

印象に残ったこと・・・

2013年に入会させて頂いて、仮入会員の時から、多くの事業に参加させて頂きました。最初に参加させて頂いた対外事業は、JCカップでした。その年は、今では想像が難しいかもしれませんが、入会のきっかけとなる拡大をされていて私の副スポンサーでもある一色先輩は、委員長として、広報事業だったり、青少年事業だったり幅広く活躍されてらっしゃったのですよ。その一色先輩がされた事業で、お盆休み最後の土日にわんぱく冒険学校という事業がありまして、江の川カヌー公園さくぎにて、1泊2日で行われた青少年事業なのですが、委員長の号泣を目にした2回目の事業でした。

まだ、入会して4ヶ月目だったのもあり、短期間の内に良い大人の号泣を2回も見て、びっくり&軽くドン引きしたことを今でも覚えています。

JCで身についたこと、学んだこと・・・

松岡先輩のまつりをスタートに、堀内委員長のまつりを最後?にもう見る事が出来なくなるとは思いますが、事業を達成して号泣する



委員長を多く見させて頂きました。良い大人になっても、何かをやり遂げることが出来たとき、人は自然と涙が出てくるのだなと感じましたね。真剣に取り組むことの大切さを実感させて頂いたように思います。

私、学生時代の卒業式とかで泣いたことがないので、J Cの卒業式でも泣くことができるのかな？ 3回も委員長をさせて頂きましたが、やり遂げた！ 身についた！ といった実感はまだありませんので、やっぱり卒業式でも泣くことは出来ないのでしょうかねえ。

現役会員へのメッセージ・・・

J Cの醍醐味は、事業を達成した時の涙だと思います。色々と大変だとは思いますが、素晴らしい仲間恵まれていますので、肩肘はずらして楽しんでJ Cをして頂ければと思います。



下岡 育巳 君



印象に残ったこと・・・

やっぱりダンスの事業でしょう！ 半年間プロのレッスンを受けたダンス素人の子供を大会に出場させるんですが、本当に面白かった。もちろん私も毎週見にいきましたよ～。全然ダメだった子供らがドンドン成長していくんですよ～。感動もんです。私が委員長する時は絶対これがしたいと思いましたし、私の娘たちも是非参加させたいと思っていたんですよ～。実現できず残念でした。もしまた復活することになったら是非、うちの子も参加させてやってね！

J Cで身についたこと、学んだこと・・・

人に頼る事ですね。1人じゃ何も出来ない。1人で悩む時間があるなら多くの人に相談した方がいいですね。委員長してる時は特にそう思いました。ほぼ毎日、当時の副理事長の福永さんや副委員長の芦田さんには電話してましたからね～。委員会資料もとにかく早く委員会メンバーに流すことを心掛けて、事前に意見をもらって資料作ってましたから。自分1人では絶対に無理でしたよ～。やっぱり今、振り返ると自己育成総務委員会のメンバーには感謝しかありません。

現役会員へのメッセージ・・・

「一期一会」

一生に一度の機会。生涯に一度しかないと考えて、そのことに専念してみてください。

一生涯にただ一度会うかどうかかわからぬほどの縁。出会いを大切にしてください。

三島 淳志 君

印象に残ったこと・・・

こんな凄い人たちが身近にいるんだなと感心しました。お世辞では無いですよ。理事会の場にいると鋭かったり厳しかったり様々な発言がありますが、必ずそれぞれの意をくみ取って丸く収まる流れがあるんですね。喩えるなら僕たちは採石の石ですよ、ごつごつして尖ったままの原石というか、でもねそんな尖った石だからこそ、踏まれて強く堅い地になるんですよ、いくら集まっても丸石じゃ駄目ですね。でもほんと変わった人が多くて、それはそれで感心しました(笑)

J Cで身についたこと、学んだこと・・・

正直委員長を経験できなかったのは心残りですね。最後の年はセクレタリーでしたが、だからこそ客観的に会を見れたかな？ とも思います。J Cって組織の理想を体現している所があるなと思うんです。



今の世の中ってペースダウンというか緩さを推奨されてますが、JCに参加して厳しさを保つ意味を知ることが出来ました。この厳しさがあるからこそ私達は短期間で成長し結果を出し続ける事が出来るのだと。ON、OFFってのをよく聞きますが、これこそ厳しさを保つコツだと思います。あと時間の使い方が身に付きましたね。「先ずれば即ち人を制す」と言いますが、確かに予定を立てることは面倒ですが、遠い先の予定を持っていると自分のペースで物事が進むことを実感できました。

現役会員へのメッセージ・・・

みんな全力でやってるから、本気でぶつかってるんだろうな～って、すこし羨ましい気持ちで眺めてた気がします。全力でやるためには健康であることが前提ですよ。時には体を休め、自分を褒めてあげてくださいね。ご安全に！

新入会委員紹介



金行俊和
福山市立
水香小学校

私は生まれも育ちも大阪ではございますが、縁あってこの度府中JCに入会させて頂きました。JCでの活動を通じて地域社会の発展に微力ながら尽力してまいりたいと存じます。その中で自身の知見を広めることができればと思っております。至らぬ点多々あるとは思いますが、精進いたしますので今後とも皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。



松岡伸哉
幸和精機(有)

私は中学校卒業以来、府中市を長く離れていました。5年前に府中市に戻りましたが、住み心地は良いものの、なんとも言えない空白感がありました。そんな中お誘いを受け、入会させて頂きました。これからは、府中JCの事業を通じて、府中をより良い町にするために少しでも貢献できたらと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願います。

空埋雑話

毎日は仏道というお話

一番のポンコツと名高かったお釈迦さんの弟子が一人、チューラパンタカ。この者、お釈迦さんのお話がさっぱり頭に入ってこず、修行も進まず、自らの愚かさを嘆き悲しみ、坊さんをやめて家に帰ろうとします。その時、お釈迦さんが「自分を愚かだと知る者を賢者といい、自分を賢いと思いきがる者を愚者という」と声をかけ、箒を渡し『ちりを払わん、あかを除かん』と呟きながらその辺を掃除してなさい」とおっしゃいました。これなら私でも出来る！と意気揚々と掃除を始めるチューラパンタカ、綺麗になるたびに晴々とする我が心の様子を感じて「払うべきちり、除くべきあかは我が心にあった！」と見抜き、悟りを開かれぬ。

師走でございます。仏教ではこの世は我が心の現われと観ます。部屋を掃除すれば、掃除した者の心もまた綺麗になります。また先日読みました本には、普段から整理を心がけると、目から脳に入ってくる雑多な情報が減り、結果必要な事柄への集中力が増し、ストレス軽減や情緒安定に繋がるとありました。なるほど、「修行とは一に掃除、二に掃除、三四がなくとも五に掃除」と言いますが、皆さまが平素行われているちょっとした片付けや、普段の整理整頓こそ仏道、最も功德ある修行です。とはいえ『五蘊盛苦(ごうんじょうく)』とお釈迦さまも申されますようになかなか思い通りにならぬが我が心。ですから今年も年末の大掃除で、普段は目に付かぬ所や、大事な仏壇、神棚なども綺麗にし、隅々まで心のあかとちりを除き払ってしましましょう。ほら「終わり良ければ全てよし」と申すではありませんか。

ではよいお年をお迎えくださいませ。

合掌
蛸田大悟

広報担当より

広報を担当しております会員交流委員会委員長 藤井です。この度、現役会員の皆様のご協力によりJC News 518号を発行できました。この場をお借りし御礼申し上げます。

JC News No.518 (2019年12月22日発行)
発行人 一般社団法人 府中青年会議所
〒726-003 広島県府中市元町 445-1
府中商工会議所 2F
Tel:0847-45-2648 Fax:0847-45-2984
Mail:fuchujc@fuchu.or.jp
URL: <http://www.fuchujc.com>